

### 本冊子の目的

この冊子は、小学生の景観を主体としたふるさと教育に役立てていただくよう作成しました。

### 探検マナー

探検する時のマナーとして、見学先や地元の人たちへ、声掛けやあいさつをしましょう。また、展示物などは大切にあつかいましょう。

[お問合せ先] 江津市市役所 都市計画課

〒695-8501  
島根県江津市江津町 1525  
TEL.0855-52-2501  
FAX.0855-52-1379

[発 行] 江津市都市計画課

[製 作] 島根県建築士会江津支部

[写真・編集] 梅田賀千

[協 力] 石州赤瓦研究委員会  
石州瓦工業組合

[発 行 日] 平成 29 年 3 月 31 日

[制 作] 株式会社 D 5 2



表紙の作品:『雪降る本町』

渡津小6年 高橋唯七さん (H28年度)

# 赤瓦

が  
わ  
ら

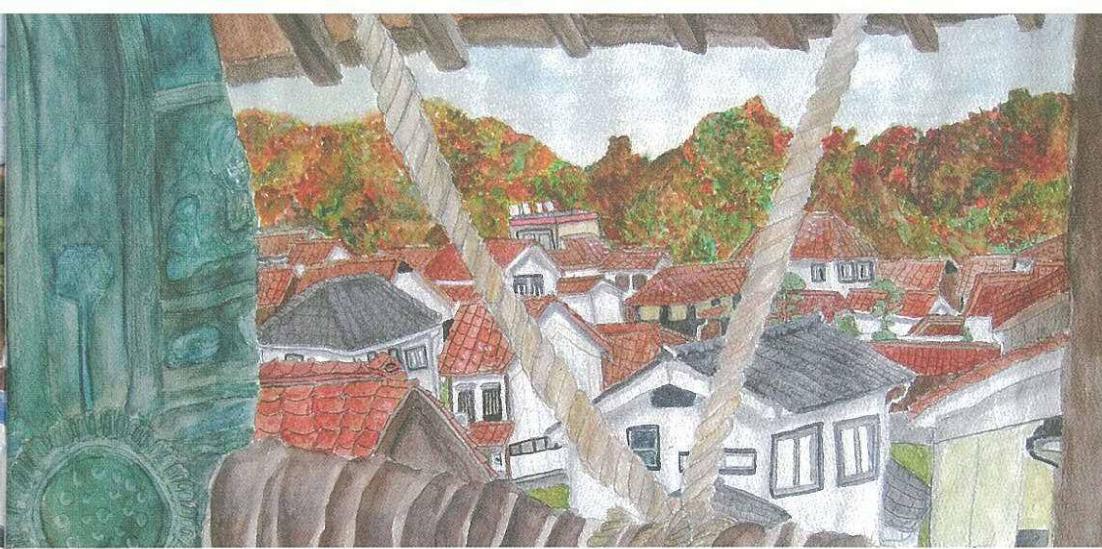
ここにも、あそこにも  
あっちにも、こっちにも  
まちには、赤瓦あかがわらがいっぱい

江津では 200 年も前から  
赤瓦あかがわらをつくり続けて  
今も使い続けているなんて  
他の産地ではないことなんだ  
赤瓦あかがわらを大切にしてきたんだね  
だから、赤瓦はすごい

赤瓦のこと、もっと知りたいな  
さあ、赤瓦の探検の始まりだよ



『神社の鳥居と赤がわら』渡津小5年 佐多晃貴さん（H28年度）



『赤瓦の街を見下ろして』渡津小6年 橋井佑空さん（H28年度）

## 探検すること

1. 近くの屋根を見てみよう ..... P 4
2. お寺やお宮はどんな屋根? ..... P 6
3. 昔の校舎はどんな屋根? ..... P 7
4. お気に入りの場所を探そう ..... P 8
5. こんなすてきな風景もあるよ ..... P 10
6. ちょっと昔の風景は? ..... P 14
7. 瓦に触れてみよう ..... P 16
8. 瓦の役目や仕組みを考えてみよう ..... P 17
9. 願いが込められた瓦を探そう ..... P 18
10. 古い赤瓦を探そう ..... P 20
11. 古い赤瓦のことを聞いてみよう ..... P 22
12. 登り窯に行ってみよう ..... P 23
13. 世界に誇れる石州赤瓦 ..... P 24
14. 赤瓦でまちづくり ..... P 26
15. 石州瓦のまとめ ..... P 27



『路地』江津東小6年 浜田将吾さん（H24年度）



『赤がわらの家』江津東小4年 山根麗羅さん（H23年度）

## 1 ちかくのやね見てみよう

じぶん　いえ　やね　かわら  
自分の家の屋根は瓦かな？

MEMO .....

そうじゃないのかな？

.....

いろ　かわら  
どんな色の瓦かな？

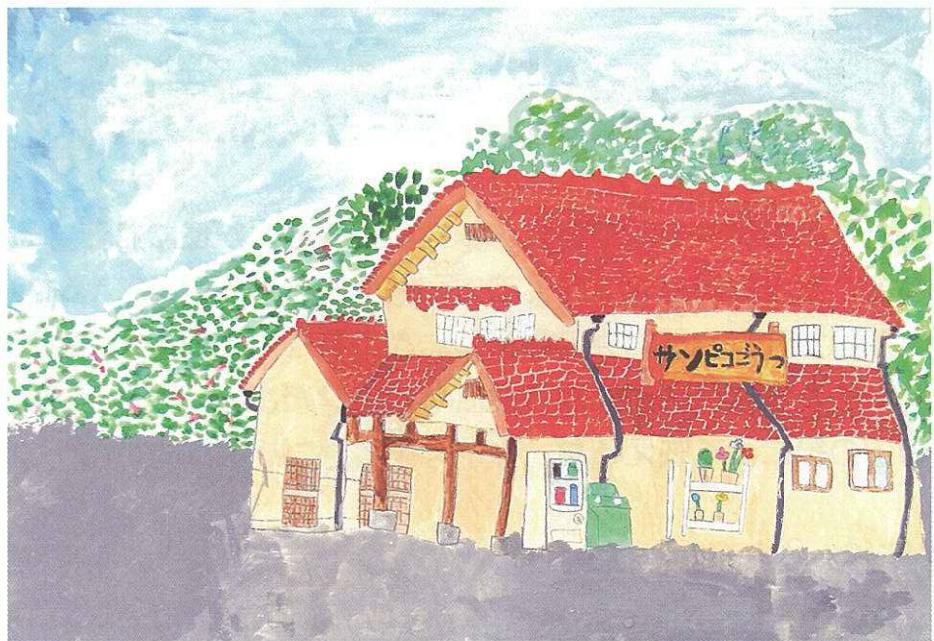
.....

いえ　みせ　み  
となりの家やお店も見てみよう。

.....

きっと、赤瓦の屋根は見つかるよ。

.....



『すてきなサンピコ赤瓦』江津東小4年 嶋田瑠晟さん（H22年度）



『学校の近くのお寺』跡市小2年 富金原未来さん（H22年度）



『跡市小学校』跡市小5年 野村規幸さん（H23年度）

## 2 てら みや やね お寺やお宮はどんな屋根？

きんじょ てら みや やね かわら つか  
近所にお寺やお宮があるよね。屋根には瓦が使われている  
かな？お寺の屋根は大きくて、瓦がいっぱい使われているね。  
かねつき堂や門も見てみよう。どの建物も赤瓦にそろって  
いたら、ちょっと遠くから見てもきれいだよ。赤瓦は、後ろ  
の山の緑によく映えるね。

MEMO

## 3 むかし こうしゃ やね 昔の校舎はどんな屋根？

へいこう あといちしうがつこう くろまつしうがつこう はづみしうがつこう  
閉校になっている跡市小学校や黒松小学校・波積小学校に  
は、木造の校舎や講堂が残っているよ。  
しろ かべ くろ いた あかがわら いま  
白い壁や黒い板、そして赤瓦だね。今までに、たくさんの  
こどもたちが、この校舎で学んだんだね。ふるさとの思い出  
に、いつまでも心に残る色なんだって。

MEMO



『すてきな赤瓦』江津東小5年 佐々木彩佳さん（H22年度）



『はなぐりロードの町並み』郷田小5年 山本妙子さん（H25年度）

## 4 お気に入りの場所を探そう

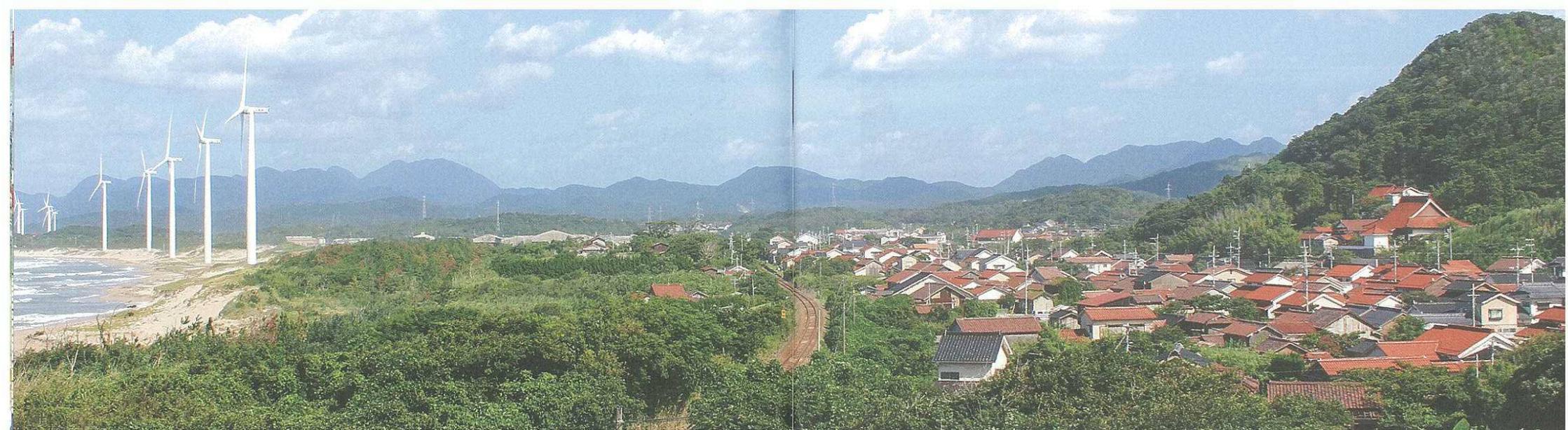
あかがわら やね なら やね かたち  
赤瓦の屋根が並んだら「すてき」。屋根の形も、となりと  
そろってるしね。レトロな江津本町の“はなぐりロード”も  
「すてき」。学校からの眺めは「お気に入り」。

こんなすてきな街なみが、いつも見慣れた風景にあったん  
だね。気付かなかつたよ。

### MEMO



『私のお気に入りの場所』津宮小6年 山藤綾乃さん（H27年度）

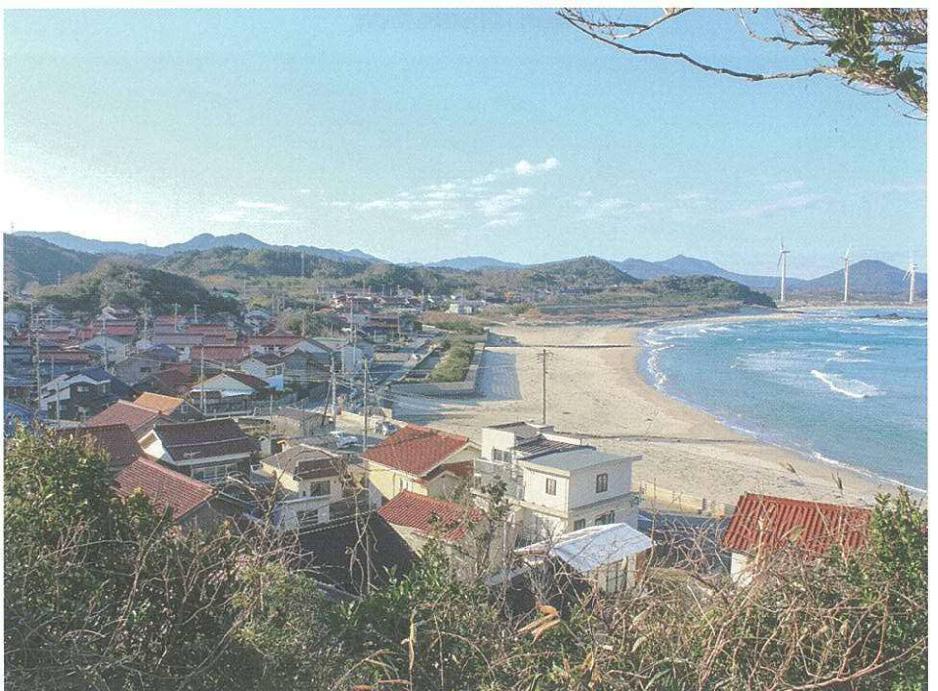


あさりちょう ごくどう こうせい あさぢ  
浅利町：国道9号沿いの空地から

## 5 こんなすてきな風景もあるよ

こだか おか あかがわら まち みわた ばしょ  
小高い丘から赤瓦の街なみが見渡せる場所があちこちに  
あるよ。赤瓦は豊かな自然に映えて、とてもきれいだね。こん  
ところ え がき あずまや  
な所から絵を描きたくなるよね。ベンチや東屋もあればい  
いね。  
あんぜん なが せいび ばしょ  
安全に眺められるように整備されていない場所もあるの  
で、気をつけようね。

### MEMO



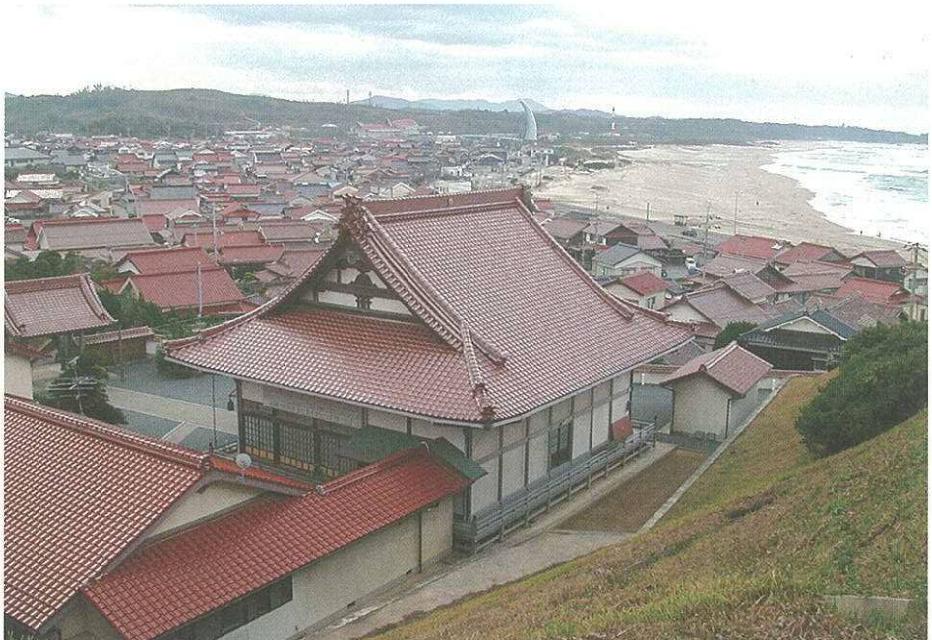
くろまつちょう りゅうしょうざんこうえん  
黒松町：龍松山公園から



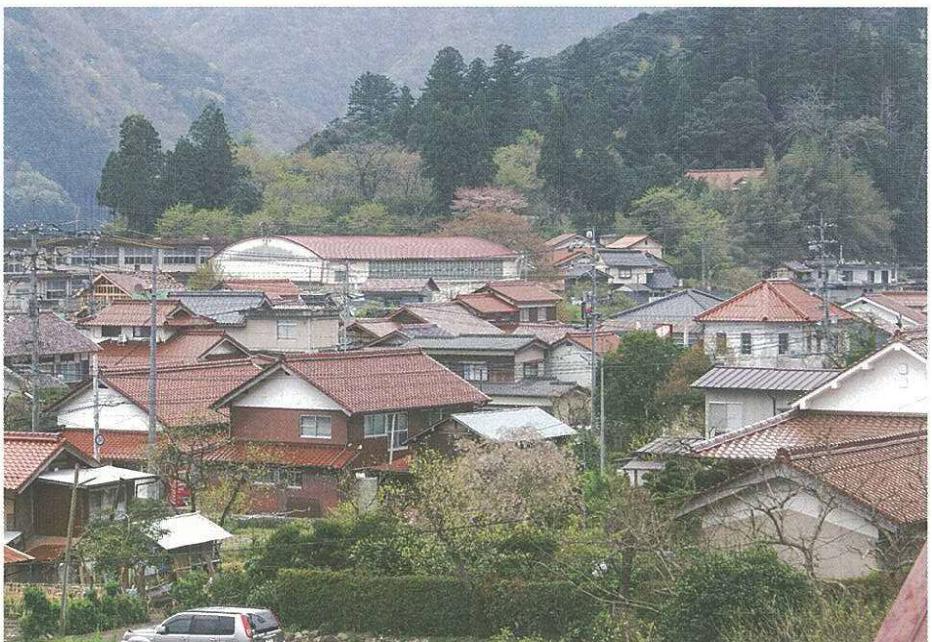
つちちょう えんこうじしゅうへん  
都治町：円光寺周辺から



わだづちょうながた しんじょうがわばし  
渡津町長田：新江川橋から



はしちょう じょうふくじゅらやま  
波子町：常福寺裏山から



さくらえちょういちやま とうちょうじけいだい  
桜江町市山：藤長寺境内から

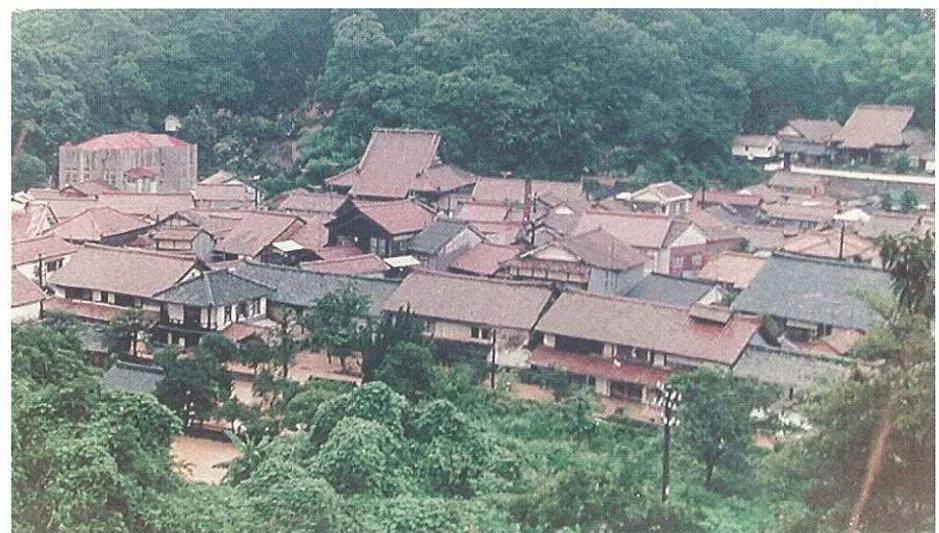


あかがわら ひろ しょうわ ねんたい つ の ごちょう しゃしんていきょう ごう つ  
赤瓦が広がる昭和30年代の都野津町（写真提供：江津市）

## 6 | ちょっと昔の風景は？

赤瓦の家並みが驚くほどきれいだね。都野津町の柿本神社  
には人麻呂の松が大きく映っているね。  
西側には、まだ家がなかったんだね。江津町本町にある二  
つのお寺の屋根も赤瓦だったんだね。今は赤瓦じゃないんだ。  
今と昔を比較すると、何か発見があるよ。

### MEMO



しょうわ ねん ごう つ ちょう ほんまち しゃしん ていきょう ほんまち すいしんきょう  
昭和47年の江津町本町（写真提供：本町まちづくり推進協）

### MEMO

## 7

## かわら ふ 瓦に触れてみよう

▶ 瓦を持ってみよう。重いかな？

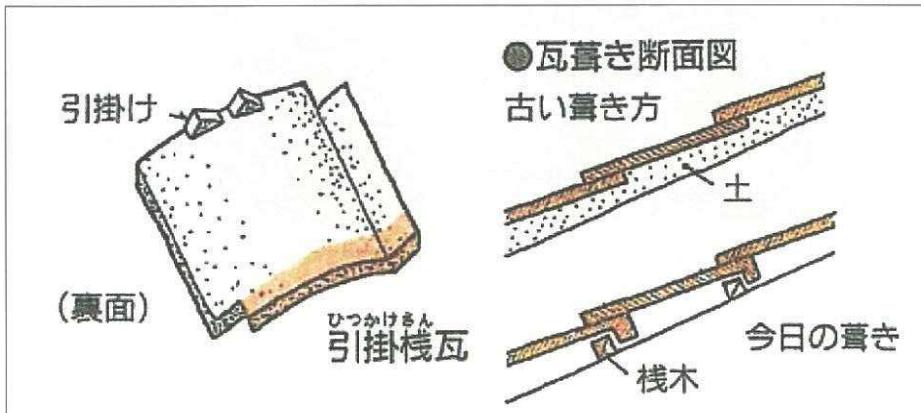
▶ 瓦はどんな材料でできているのかな？

▶ 瓦の形や種類は？

▶ 瓦の大きさや厚みは？

▶ 瓦の表と裏はどうなっているかな？

▶ 1枚の値段は？



出典：『図説 島根県の歴史』河出書房新社 1997年7月初版発行

## 8

## かわら やく め し くみ 瓦の役目や仕組みを かんが 考えてみよう

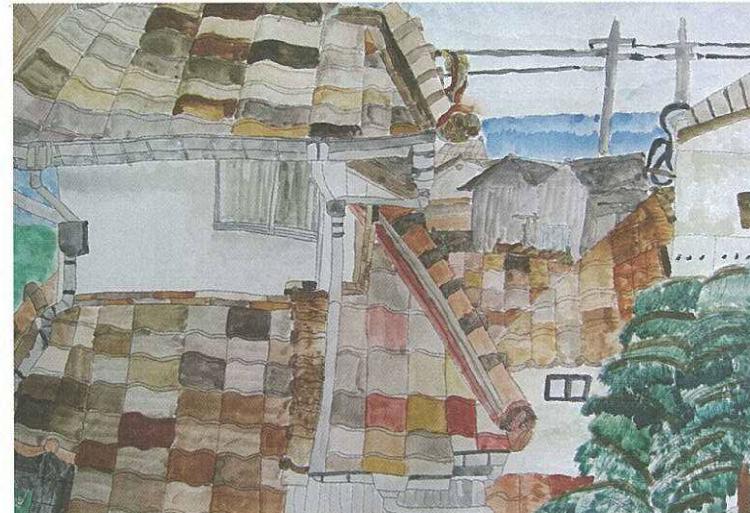
たて もの 建物には必ず屋根があるよね。

▶ なぜ、屋根は必要なのかな？

▶ どうして、屋根に瓦が使われているのかな？

▶ どうやって、瓦は葺かれているのかな？

▶ なぜ、赤い色なのかな？



『波子の街並み』川波小6年 高橋喜史さん (H25年度)

# 願いが込められた 瓦を探そう

大切な建物の屋根には、いろいろな願いが込められているよ。

- ▶ 火災などの災害に遭わないように … 水、波、龍、鯉など
- ▶ 家や商売が栄えますように … 大黒天、小槌、巾着など
- ▶縁起がいいもの …… 松竹梅、鶴亀など
- ▶お寺などで魔よけとして …… 鬼面瓦、鮓、獅子など

## 火災・災害よけの瓦



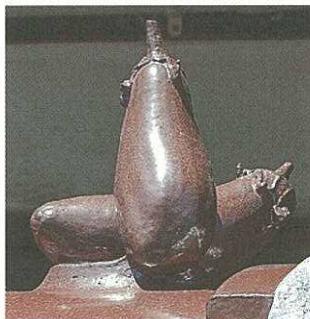
## 縁起のいい瓦



一、富士



二、鷹



三、茄子

初夢で見ると縁起がいいんだって!

## MEMO



鬼面瓦



めずらしい「鍾馗」の鬼瓦

## 魔よけの瓦

ふる あか がわら さが  
古い赤瓦を探そう

お寺やお宮には、古い瓦を保管していたり、それを展示している所もあるよ。色や形もさまざまだね。

よくると、造られた時期や名前などが刻まれているものもあるよ。赤瓦の歴史を知ることができて貴重なんだ。

見る時は、壊さないように気を付けようね。

がんりゅうじ はづみちょう こがわら ぶんせい ねん  
岩瀧寺（波積町）の古瓦：文政2年（1819）



ぼうしょうじ くろまつちょう こがわら ぶんせい ねん  
法正寺（黒松町）の古瓦：文政4年（1821）



じょうこうじ ち だちょう こがわら てんぽう ねん  
浄光寺（千田町）の古瓦：天保3年（1832）



かくし せきめく じこがわら たいしうがんねん  
西楽寺（嘉久志町）の古瓦：大正元年（1912）

MEMO

11

## ふる あか がわら 古い赤瓦のことを き 聞いてみよう

むかし せい かづ よう ぐ てん じ さう つ し きょうど しりょうかん と しょ  
昔の生活用具などを展示している江津市郷土資料館が図書  
かん 館のとなりにあるよ。古い赤瓦もあるよ。  
ごう つ し きょういくい いん かい たん とう しゃ せつ めい き  
江津市教育委員会の担当者さんから説明を聞くことができる  
まる まな こみ ひつ よう  
るよ。前もって申し込みが必要だよ。  
かわら まな はく ぶつ かん  
瓦のことを学べる博物館があればもっといいね。

### MEMO



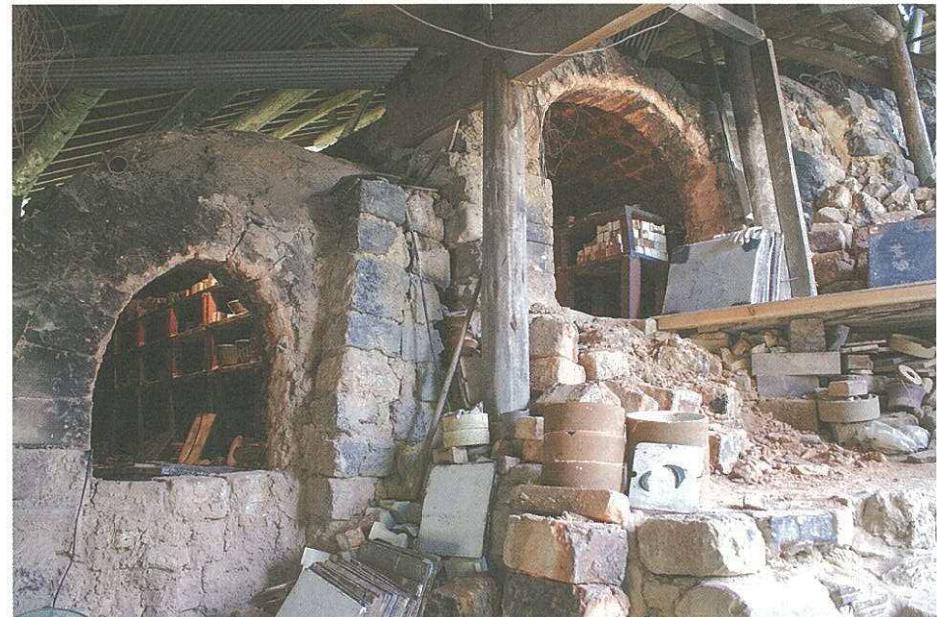
こうつ しきょうどしりょうかん てんじ あかがわら  
江津市郷土資料館に展示してある赤瓦

12

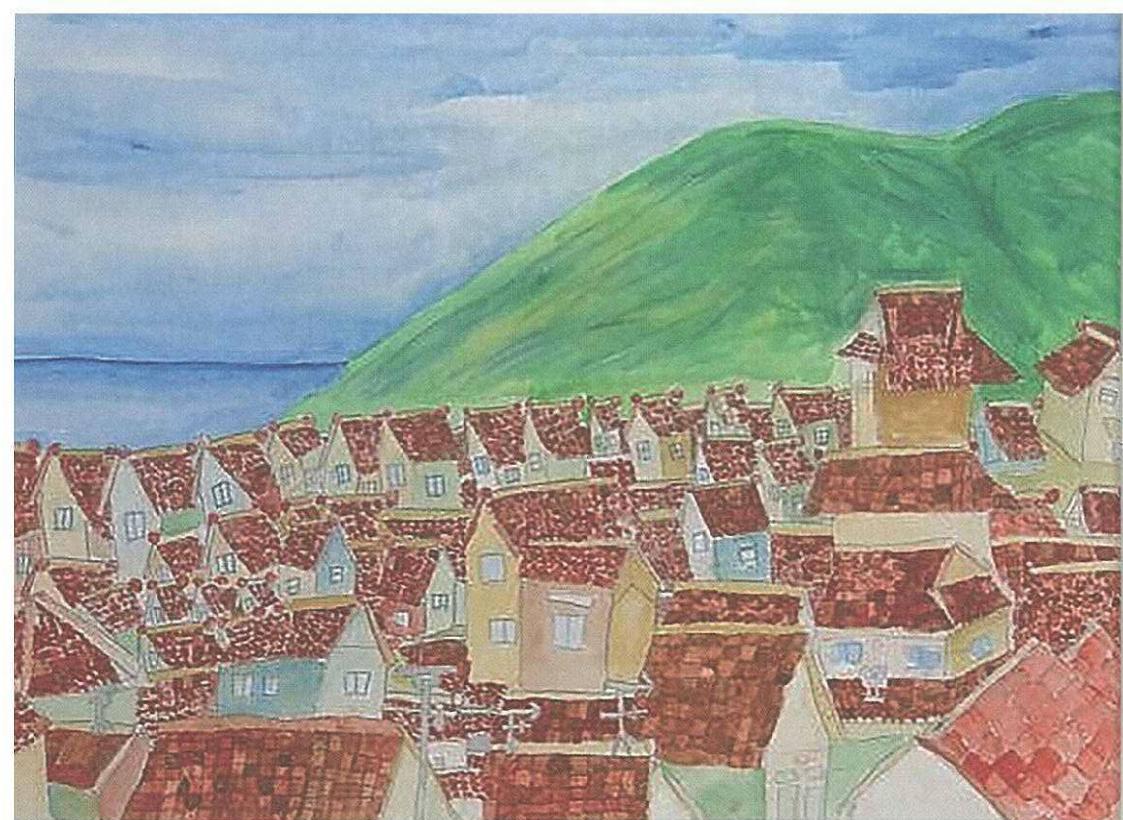
## のぼ がま い 登り窯に行ってみよう

せきしゅうしま だ がま のぼ がま まい とし がつ とう き うつわ や  
石州嶋田窯にある登り窯では、毎年5月に陶器の器を焼い  
ているんだ。古い赤瓦も昭和40年代ごろまでは、各地にた  
のぼ がま や かく ち  
くさんあった登り窯で焼かれていたんだ。1,300℃の高温で  
や さむ つよ かわら こう おん  
焼かれたから、寒さに強い瓦ができたんだよ。  
のぼ がま ほのお かわら うつわ いろ あらわ  
登り窯の炎のムラは、瓦や器の色ムラにも表れるんだよ。

### MEMO



いわみ やき かまもとせきしゅうしまだま のぼ がま うしろじちょう  
石見焼の窯元石州嶋田窯の登り窯（後地町）



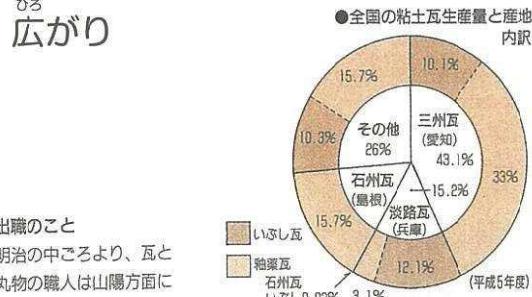
『私の好きな風景』川波小6年 松岡愛子さん（H21年度）

13

## 世界に誇れる石州赤瓦

のぼり 窯で焼かれた古い赤瓦は、北前船などの船で日本海沿  
岸の地域に運ばれたんだ。瓦職人たちも山陽方面や四国・九  
州へ出て行って造ったんだよ（出職という）。こうして石見  
の赤瓦は日本だけでなく海外まで広がったんだよ。  
石州赤瓦の風景は、世界に誇れる宝なんだね。

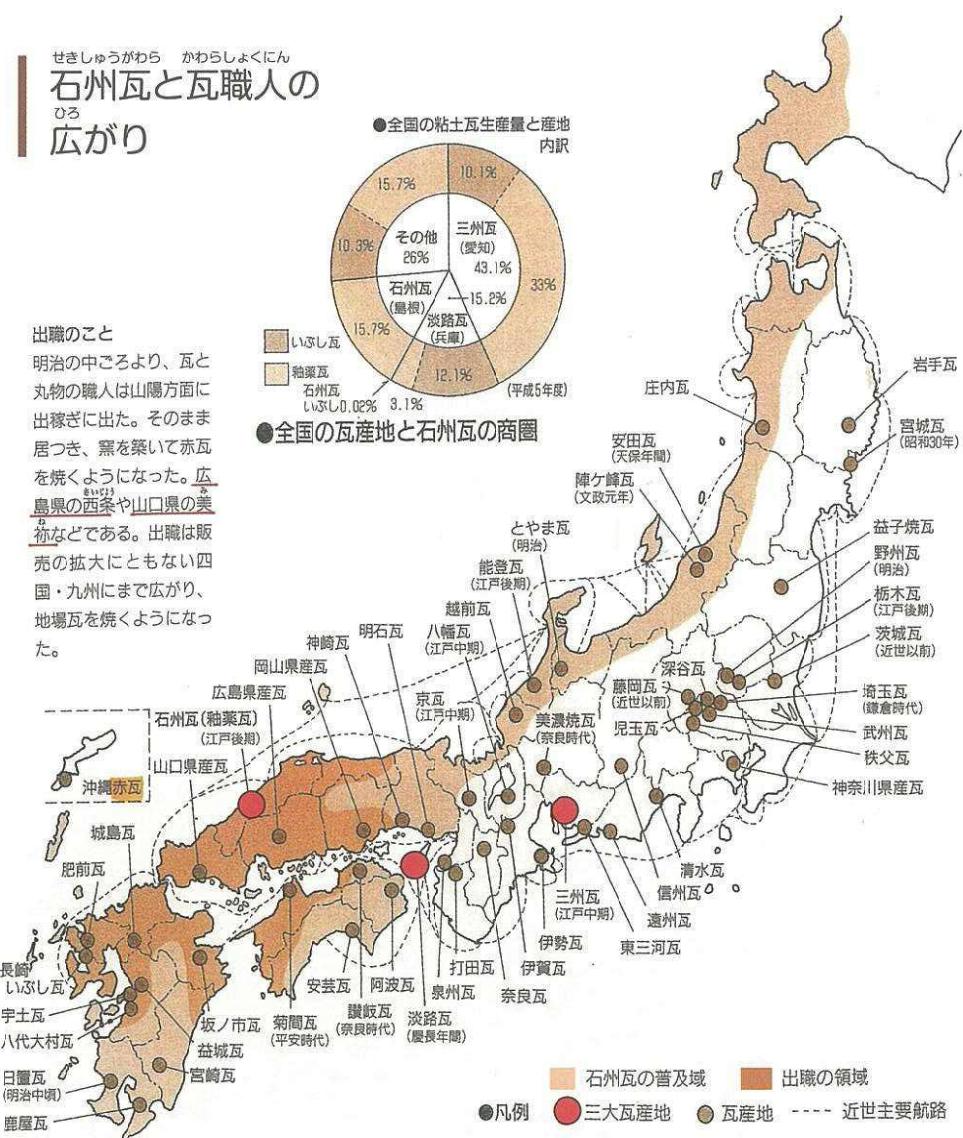
### せきしゅうがわら かわらしそくにん 石州瓦と瓦職人の ひろ 広がり



#### 出職のこと

明治の中ごろより、瓦と丸物の職人は山陽方面に出稼ぎに出た。そのまま居つき、窯を築いて赤瓦を焼くようになった。広島県の西条や山口県の美祢などである。出職は販売の拡大にともない四国・九州にまで広がり、地場瓦を焼くようになった。

#### ●全国の瓦产地と石州瓦の商圈



#### MEMO

# 14

あか がわら

## 赤瓦でまちづくり

おお うみ ごう かわ  
大きな海や江の川

みどり ゆた やま やま  
緑が豊かな山々

し せん つづ さう つ  
自然に包まれた江津

わたし く うつく あかがわら や な  
私たちが暮らす美しい赤瓦の家並み

ごう つ し せきしゅうがわらぎょうかい  
江津市や石州瓦業界では、赤瓦の景観を大切にする取り組  
みを行っているんだよ。

### MEMO



平成 28 年 8 月にオープンした江津ひと・まちプラザ パレットごうつ (写真提供: 江津市)



『空き家』川波小6年 三明奈央さん (H25年度)

# 15 石州瓦のまとめ

しりょうていきょう せきしゅうがわらこうざくくみあい  
(資料提供: 石州瓦工業組合)

### ■石州瓦とは

しま ね けんせい ぶ いわ み ち いき と ねん ど げんりょう  
島根県西部の石見地域で採れる粘土を原料として、1,200℃  
いじょう こう おん や し かわら に ほん さん だい さん ち ひと  
以上の高温で焼き締めてつくられる瓦。日本三大産地の一つ。  
せん こく だい い やく 全国第2位 (約 15% のシェア)。

### ■石州瓦の最大の特徴

さむ しあ かぜ えん がい つよ さむ ち いき えん がん ぶ はつ ぐん  
寒さや潮風 (塩害) に強い。寒い地域や沿岸部では抜群の  
いりょく かぜ と じ しん 威力。風に飛ばない。地震によるずれがない。自然素材。地  
きゅうかんきょう よ じん たい よ 球環境に良い。人体に良い。

## ■どの地域で造られているのか？

しま ね けん せい ぶ いわ み ち ほう おお だ し にし  
島根県西部の石見地方（大田市から西）

## ■どこで、どうやって、どのくらい造るのか？

### 【どこで？】

き かい か じ ど う か す す かわら せ い そ う こ う じ ょ う  
機械化・自動化が進んだ瓦製造工場

### 【どうやって？】

げんりょう ど さ い し ゅ げんりょう ど し り せ い け い か ん そ う せ ゆ う  
原料土採取⇒原料土処理⇒成型⇒乾燥⇒施釉  
⇒焼成（トンネル窯）⇒検査⇒梱包

### 【どのくらい？】

さん ち ねん かん やく まん まい  
産地で年間約5,000万枚  
じゅうたく やく まん とうぶん にち やく とう ぶん  
(住宅で約2万棟分・1日に約65棟分)

## ■瓦にはどんな形や色があるのか？

かわら ゆう やく こう おん や  
瓦に釉薬をつけて高温で焼く。

### 【どんな形？】

わ が た よう が た わ ふ う よう ふ う じゅう た く  
和形、洋形。和風にも洋風住宅にもマッチ。

### 【どんな色？】

シルバー色（60～70%）

赤瓦（10～15%）

## MEMO

## ■どの地域へ出荷し、使われているか？

### 【全国へ】

にし に ほん ちゅうしん ちゅうごく ち ほう やく きゅうしゅう やく  
西日本を中心に、中国地方約50%、九州約37%、他13%。

### 【海外へ】

さむ ちゅうごく ほく ぶ たい わん  
寒いロシア、中国の北部、台湾、フィリピン

## ■屋根以外の商品開発

ゆか かべ かわら しょつき ふりょう がわら ひん  
床や壁タイル、瓦の食器、不良瓦のリサイクル品

## MEMO



『人々と共に存する赤瓦の家』津宮小6年 日高武志さん（H23年度）

## ■出荷数量と構成員数の変遷

せき しゃう がわら こう ぎょう くみ あい  
石州瓦工業組合

	組合員数	江津市	大田市	浜田市	益田市	(千枚)	(人)
S61年	27	(13)	(9)	(4)	(1)	192,709	1,314
H6年	25	(13)	(8)	(3)	(1)	228,096	1,103
H10年	25	(13)	(8)	(3)	(1)	186,643	986
H17年	19	(7)	(8)	(3)	(1)	144,483	855
H18年	17	(6)	(8)	(2)	(1)	118,184	809
H19年	12	(6)	(4)	(2)		95,044	433
H20年	9	(3)	(4)	(2)		79,733	452
H21～H25年	8	(3)	(3)	(2)		61,184	410

## ■いつごろから造られはじめたか?

▶瓦が今の韓国から伝えられたのが588年。

▶浜田城を造る時(1609年)、大阪の瓦師が来て造って約400年。この頃は、おそらく釉薬をかけない素焼き瓦。

▶江戸時代の後期(約200年前)、赤瓦(来待瓦)は地元で採れる良質な粘土と出雲地方で採れる来待石を釉薬に使い、登り窯で1,300℃の高温で焼いて造った。

MEMO

絵画・参考文献・資料

「赤瓦の住宅・街並み絵画コンクール」

(H21～H28年度)受賞作品から

—江津市都市計画課—

●『図説 島根県の歴史』河出書房新社

1997年7月初版発行

●石州瓦工業組合提供資料

もっと知りたい時は

## 石州瓦工業組合【屋根の学校】

YANEノート動画

YANEノート動画全編 - YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=VcnhxlmXbB4>

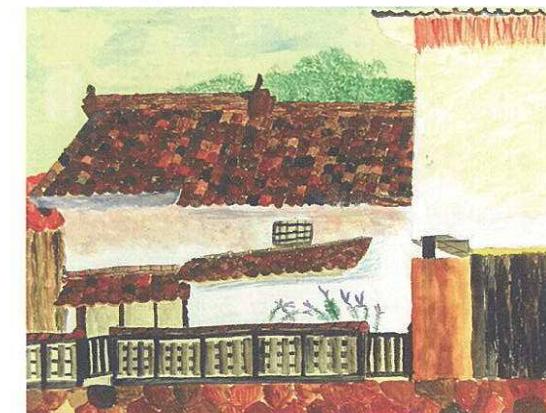
石州瓦e-Book

石州瓦e-Book - 石州瓦工業組合 <http://www.sekisyu-kawara.jp/howto/ebook/index.html>

## 江津市ホームページ

江津市景観まちづくり

景観まちづくり - 江津市ホームページ <http://www.city.gotsu.lg.jp/5816.html>



『本町の町並み』郷田小6年 吉川日奈子さん(H22年度)